

宮城いきいき便り

まずは自分が楽しまないと その人の要望察してガイド

みやぎの明治村・とよま観光案内人倶楽部代表

中澤さち子さん (74) 登米市登米町

高校教師を定年より10年ほど早く退職し、後に時間講師を数年務めた。

廃藩置県直後の目まぐるしい変遷の中で、現在の登米市登米町に水沢県庁が置かれた縁で、登米町と水沢市の両小学校児童が交流を行っていた。その時にお手伝いとして水沢から来た児童を案内しているところを、観光ガイドをしている先輩の先生に見られてしま

った。

「先輩の先生について回ったり、登米町史を読んだりとそれからが勉強だった。覚えなきやならないので、高校や大学の受験の時よりも一生懸命勉強した」と苦笑しながらも懐かしむ。

案内した観光客から「先生の授業を聞いてみたいだった」と言



いつも穏やかな表情の中澤さん

「登米町に来てよかった、登米町を見て回った、ガイドに

「東日本大震災後は、登米市登米町に仮設住宅ができるまでの約5カ月間、高齢者施設で被災者の入浴サービスに当たった。町内の観光施設の管理、運営を担う「とよま振興公社」が営業できない状態だったため、公社の職員らと一緒に携わった。

町内には、登米謡曲会による登米能が傳承されている。秋祭りの

「被災者の皆さんが段々と元気になってきたのが、うれしかった」と振り返る。

震災後しばらくの間は、町内を訪れる観光客が減った。中澤さんは年間でガイドを70回ほど担当していたが、

「若い人は、ガイドが難しい、勉強するのが負担と感ずるのかもしれない。すぐに辞めてしまった人もいる。本当に登米町が好きで、人と接するのが好きじゃないとできない」と中澤さん。

「知識があり、それを話すのがガイドではない。お客さまと接すること自体がガイドだと思ふ。つまり、お客さまと接して楽しく思ふこと」と強調する。

これからもガイドの活動を通じ、地元の観光振興に努める。「お客さまに楽しんでもらいたい。要望があれば遠慮なくお話しして」と呼び掛ける。



武家屋敷「春蘭亭」の玄関で

30回程度にまで激減した。ここ数年は東北各地からの観光客がほとんどで、後は北関東や新潟など。震災前は関西方面からもいた。

若手育成が課題

ガイドは完全予約制。公社がスケジュールを調整し、担当者を決めている。現在男性3人、女性9人のガイドが活動。高齢化は否めないが、常に勉強会を開くなど研さんを重ねている。

メンバーは全員個性的で話す内容も違う。バスガイド出身が3人いて、その人たちのガイドぶりを見習いながらノウハウを教えてもらっている。

一方で、若い世代が育っていないことを懸念する。

「若い人は、ガイドが難しい、勉強するのが負担と感ずるのかもしれない。すぐに辞めてしまった人もいる。本当に登米町が好きで、人と接するのが好きじゃないとできない」と中澤さん。

被災者支援活動も

「被災者の皆さんが段々と元気になってきたのが、うれしかった」と振り返る。

震災後しばらくの間は、町内を訪れる観光客が減った。中澤さんは年間でガイドを70回ほど担当していたが、

「若い人は、ガイドが難しい、勉強するのが負担と感ずるのかもしれない。すぐに辞めてしまった人もいる。本当に登米町が好きで、人と接するのが好きじゃないとできない」と中澤さん。

「知識があり、それを話すのがガイドではない。お客さまと接すること自体がガイドだと思ふ。つまり、お客さまと接して楽しく思ふこと」と強調する。

これからもガイドの活動を通じ、地元の観光振興に努める。「お客さまに楽しんでもらいたい。要望があれば遠慮なくお話しして」と呼び掛ける。

宮城県福祉人材センター 福祉人材無料職業紹介所

福祉の仕事を求めるあなたと
福祉の職場の懸け橋となります

問い合わせ

ご利用時間 月～金・第3土曜 9:00～17:00
休日 土(第3除く)・日曜、祝日、年末年始
〒980-0014
仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館1階
TEL022-262-9777 FAX022-261-9555



第18回介護支援専門員 実務研修受講試験

試験日/10月11日(日)
会場/東北文化学園大、仙台医療福祉専門学校、
仙台青葉学院短大五橋キャンパス(予定)
受験料/8400円
試験案内配布・申込期間/6月8日(月)～7月8日(水)
試験案内設置場所/各市区町村、県の各保健福祉事務所・支所

申し込み・問い合わせ

宮城県社会福祉協議会研修課
TEL022-216-5382